子育てで子どものこんなことで悩んでいませんか？

- 周りが楽しんでいるのに無関心
- 妙に理屈っぽい
- 大きな音を嫌がる
- やりたくないことはやらない
- やりたいことを阻止されるとパニックになる　など

これらはその子の個性の場合もありますが、発達障害が理由かもしれません。

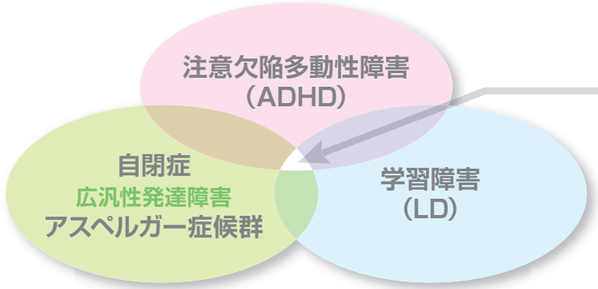
気になることがあったら、身近な保育園、幼稚園、小学校の先生に相談してみましょう。

発達障害は育て方が影響するものではありません

発達障害は、生まれつき脳の機能発達が不均衡なために生じる認知と行動の問題です。決して、親の育て方の問題ではありません。

子どもの頃から周囲が気づいて、早いうちに対応することで、二次的な障害（不登校やいじめなど）を防げると言われています。

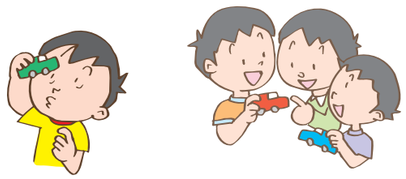
「発達障害者支援法」で定義された発達障害の特性を見てみましょう。



発達障害のなかでどのタイプと決めるのは難しいといわれています。重なり合う部分があったり、成長の時期であてはまるタイプが違ったりするからです。

自閉症

- コミュニケーションをとることが苦手
- 言葉の発達の遅れ
- 特定のものにこだわる



アスペルガー症候群

- 自閉症の特徴のうち、言葉の発達・知的発達の遅れを伴わない

注意欠陥多動性障害（ADHD）

- 集中できない
- 多動（落ち着きがない）
- 衝動的に動く
- ７歳以前に現れるといわれる

学習障害（LD）

- 全般的な知的発達に遅れは無い
- 聞く、話す、読む、書く、計算するなどのうち、特定のものが極端に苦手

発達障害の特性は一人ひとり違うので、対応の仕方もそれぞれです。周りの人たちがその子どもの障害は「どんなことが苦手なのか」「どんなことが得意なのか」を理解し認めていくことが大切です。

役場でも相談を受け付けています。

子育て支援課　☎(293)3349
健康福祉課　☎(293)3510

8月には相談会が実施されます。気になる人はご相談ください。詳しくは22ページ。

手軽なエコをはじめませんか？

ダンボールコンポストモニター世帯募集！

「ダンボールコンポスト」を使って生ゴミの減量と堆肥化を行ってもらう「ダンボールコンポスト」の実証モニターを募集します。

●モニターの内容

・町で用意する「ダンボールコンポスト」に家庭で出る生ゴミを投入して堆肥化までを実証。
・実証結果アンケートなどの協力

●募集人数　300人（先着順）
●応募資格　町内在住の人（世帯単位）
●実施期間　3～6カ月（生ゴミが堆肥になる期間）
●報　償　ボランティア（無償）でお願いします。
●応募方法　直接、環境保全課に申し込んでください（住所、氏名などをお聞きします）。
●応募期間　7月6日（月）～24日（金）

●説明会及び引き渡し

・**日時**　7月29日（水）　午前10時～
・**場所**　役場4階大会議室
※ダンボールコンポストセット一式をお渡しします。

「ダンボールコンポスト」とは？

基材を入れたダンボールの箱の中で、生ゴミを処理し堆肥化するものです。生ゴミは微生物によって分解（えさとして食べる）されるため、毎日投入しても量は増えませんし、臭いもほとんどありません。

生ゴミが肥料になり、ごみ減量化につながることから誰でも気軽に取組めるエコとして最近広がりを見せています。

平均的に一日約500g、3カ月間で約45kgの生ゴミの減量ができます。

インタビュー

「ダンボールコンポスト」を利用している山本（やまもと）セツさん（室）にお話を伺いました。

ダンボールコンポストを始めたのは去年の8月からです。商工会女性部の再生資源集団回収に取り組む中で、燃やすゴミの減量はできないだろうかと「ダンボールコンポスト」による生ゴミの堆肥化に取り組んでいます。

現在2個目の「ダンボールコンポスト」で、福岡県のJA糸島が開発した「すてなんな君」を利用しています。

※「すてなんな君」は今回モニター家庭に用意する「ダンボールコンポスト」です。

「ダンボールコンポスト」はいかがですか？

屋内の台所に置いて利用しています。臭いもなくて、生ゴミを入れても量は増えません。

前回の「ダンボールコンポスト」は4カ月利用した後、1カ月熟成させて堆肥として利用しました。

今回の分も5カ月になりますので、そろそろ次の「ダンボールコンポスト」に換えようと思っています。

コツはありますか？

生ゴミが出たらなるべく早く入れるようにしています。入れたらすぐよくかき混ぜます。三角コーナーに長く置いておくと八工がとまり、虫が発生する原因になりますので注意が必要です。

ふたのかわりに使わなくなったバスタオルを利用していて、生ゴミ投入やかき混ぜるときに便利です。

どんなものでも入れられますか？

ほとんどのものが入れられますが、玉ねぎの茶色い皮や鳥の骨、トウモロコシの芯は分解しにくいので入れていません。大きなものはきざんで入れると良いでしょう。

注意することはありますか？

温度管理が必要で、水分で調整しています。水分が多いものはしぼって入れています。また、水分が足りない場合は米のとぎ汁を入れて水分調整をしています。

山本さんは「ダンボールコンポスト」を台所で利用していますが、臭いも虫も全く発生していなく、快適に利用しています。また、庭にはコンポストもあり、生ゴミを燃やすゴミとして出すことは全くないということです。

手軽にはじめられるエコロジー「ダンボールコンポスト」を始めてみませんか？